

秋の祭典 第一回運動会行わる

十月八日学園全部の生徒が待ちに待った第一回秋季運動会が開催された。空は心憎いまで晴れ渡りグラウンドの白いラインがはつきりと輝き上り生徒の活躍を期待するに堪えていた。まず国家合唱で開校合唱によつて校歌合唱によつて開校は始められた。まず生徒全体の準備体操が終り目米（一、二年）を送が行われた。これは父兄側で行われたので生徒にはあまりはつきりみえなかつたのは残念であつた。二百米（三、高）が終り走高跳に入る。と俄然各人芸が繰出棒を渡すもの転倒するもの等方場の喝采を浴びた。又は一年の二人三脚の中にはあまり山さな生徒が居たので父兄は少なからず聲がされたらしい。縄飛競走

になり赤白が各々真を争うようになると生徒は競技に熱中してグラウンドの悪いのにも気が附いた程であつた。又は三年生のキックリレーこれはボールを蹴つて行つて旗を持つている人を迎つて来て次の人に渡し次の人はその次と順々に廻す競技である。赤白は各々の通つたボールを蹴りボールを間違わない様にしなされども蹴り過ぎて見物人を驚かせたりボールとボールがぶつかり片方がとんでもない方に転り珍プレーが繰出した。次の障物競走（一、二年）は何もな以前では身体の大い人は速かつたが川さな婦子の穴を踏るには川さな人に比べ随分分が二倍か三倍。次の四百米リレーは観衆の人氣を集め賑わつた。この頃父兄は父兄席に溢れ横の方にまで進出しているのが見られた。栄光会役員、教職員、生徒リレーは修道院の神学生の万座も加わつて下さつた。そして結果は一位修道院、二位教職員（一位を養ふつもりであつたが見事優勝は破れた）三位生徒、四位はスパーンレー（一、二年）はスパーンの上に乗せる球がピンポン球なので勢を出すすべに強に飛ばされてしまふ生徒は最後には歩いていけるのか走つていけるのかわからなくなつてしまふ見ている方ではじれつたてて手を引いてゴールまで連れて行つてやりたい程であつた。又は千前の部

最後の合同体操（三、高）があつた。これは生徒のパンツの白色と先生の緑とが映えて見ている観客に非常に清楚な感じを与えた。これが終つて生徒及び父兄の待ちわびた昼食、生徒と父兄が三々五々と集りエネルギーの補給に大変な姿が四方に見受けられた。

やがて昼食も終り午後最初の自転車競争（一、高）は簡単に勝敗がつき気が湧き出る。三年生の騎馬戦まず入場と退場内より、短剣の歌、さ歌を歌いながら入場し歌を歌い終り戦場を南に戦況は如何んと見まもれば未断燃進しの下馬評に反して白が圧倒的に強くそのま、押し切つてしまつた。音と喧は練習の時の様にとんでもない前に行く者は少なかつたがそれでも観客席、生徒席に突つて来る者があつた。縄くはさみ競走は父兄と教職員によるものでこれは球を奪ではさんでゴールまで駆け

て行くのである。校長先生は出場したはよいが球がはさまめずやつとはさめた頃には他の出場者はもう皆ゴールインしてしまつていた。後で校長先生曰く、僕が正面にやつたよ。と。それにしてもあまりにも遅すぎた感があつた。それからマツト飛箱等がグラウンドの中央に持込まれた何かと思れば熊野先生指揮下の体操部がこれからの妙技？を見せるどうだ。やがて準備体操を終りマツトの上でブリッヅ、ピラミッド、南凱門自由の女神（坊主の女神）等が作られたの既に柏子を浴びた。又は飛箱で熊野先生は他の生徒から群を抜いて上手であつた。砲丸投も終り百米決闘八百米、四百米リレーがみんなの声援のもとに行われ赤は断然強く各種同等に一等を獲り白をがっかりさせ。又は職員各科対抗リレーがあつたが体操部（一）がとびきり速く一着これ

校長先生誕生日

去る十月十一日、校長先生は第三十八回目の御誕生日を迎えになつた。この日朝礼の時、高田君の祝辞の後、校長先生は大事な様に述べられた。

「昔として諸君、どうもありがとうございます。今日私の誕生日に色々とお慶び三十八年向を反響してみますと、最も強いものは、感謝の気持ちです。私に感謝となつて、今日ここで働いているのは、皆、

で体操の先生の面目を保つてたわけが体操部の先生もなほつとした面持であつた。この先生、父兄方に一緒に見られたのは出場場、退場には生徒ほど足がきれいに揃わない事であつた。借物競走は自転車、赤い羽根、ネフタイ、砲丸、シヨトルテ先生の帽子等があり皆暖の皮をよじらした。夕方近くなつてグラウンドでは荷車競争としてきれいなプロムナード（三、高）は、整理体操（全校）があり競技は一応これでその多彩な行事を絶つた。

今年も *the Birthday gift* がありませんかと面いたのです。まあ、それは君達に与えるのではなくて、私がもらうものではない。去年は休みがあつたのですが、今年には前日が大分有つたから四十分授業にします。そうすれば、十二時すぎには終りますから。それでは、前にもいつたとおりの生は短いのです。ですからこの校長の誕生日もしつかりやりましょう。

今日は全学年五校時であつたので十二時二十分終了した。

副校長先生、來訪

九月三十日(土)に神奈川県下公立高等学校の副校長十一名が來校された。

先生方は、生徒の中間体験を究られ、その後校舎、事務館、理科校舎、講堂、体育館等、学校全部を參觀された。

未校された主任理由は、学校の設備を見ること、又学校当局の教育方針等々の具体的なやり方

九月二十四日(日)一時より二年生の父兄会があった。まずワルフ先生の、宗教と教育の關係という話があつた。

近代の若い人間の心にある高い理想に対するおこがれがある。今まで信じていた理想は全部なくす月にはからになつた。我には焦が落ちるように日本の少年にとつても我が未だ。近來のこの苦しい時代について我々はどのようなことを必要とするのですか。

神を信する事のみです。或は宗教を自分の生活の中心とした人間である。

神を信した人間はその人の心の中に空にかかっている。人間は神を畏敬することが出来ない。人間の生活は、太陽が露上にあるならばかげがない。しかし遠くはなれると影が出来ます。神は我々の生活の中心だつたなら心には不幸と暗黒がない。しかし神からはなれると心におけるさびしさと暗黒がますます大きくなつてくると、若いものは神への道を尋

を研究される高である。

參觀後事務館二階に於て校長先生、シュトルテ先生、ヘルヴェク先生、殿村先生列席のもとに、訓育、教育内容について一時の間は話し合いが行われた。

新光編集部発展

めざまし

第四号の発行が予定より遅れ幾分沈滞の気味であつた。新光編集部では、去る九月廿六日多くの困難に打ちかつて愈々第四号を発行して好評を得たが、その高後一、二年生の部員募集を行

い、多くの応募者のうちから二年三名、一年四名計七名の部員を決定、今日一日これを発表して早速新しい活動に入った。

新光編集部では、校長先生お誕生日の十月十一日、校長先生御臨席のもとで第五号編集の構想を練つた。一回は、「学校で

この実行へ導かぬならばない。学校としては勉強と団体生活を通して、子供にはつきりし、道徳判断又はその実行を教える義務がある。どうゆうことを教えるには社会倫理という科目が設けられている。

実行させることは学校生活全般にわたつて、生徒がどの行動のいちいちに対して良心的に判断させるのは原則である。その上に新光学園の教育根本であるカトリック教理を勉強し、正しい生徒に、公教要理を教える。新光学園の宗教的教養は、人間の神に

教育の根本は宗教

学校の教育の全般は確かな宗教的の信念に基きいている。即ち、人間は神に作られて神のおきてにしたがつて生活するのによつて、その終極の目的に即ち神と一致されることに達する。子供は神から賜にたくされたものである。子供が自分の力だけで目的も又目的への道がはつきり解るとは出来ぬ。神又は親の代理である学校の先生が子供にたしかな知識を教え、その教

集部では、去る九月廿六日多くの困難に打ちかつて愈々第四号を発行して好評を得たが、その高後一、二年生の部員募集を行

い、多くの応募者のうちから二年三名、一年四名計七名の部員を決定、今日一日これを発表して早速新しい活動に入った。

新光編集部では、校長先生お誕生日の十月十一日、校長先生御臨席のもとで第五号編集の構想を練つた。一回は、「学校で

この実行へ導かぬならばない。学校としては勉強と団体生活を通して、子供にはつきりし、道徳判断又はその実行を教える義務がある。どうゆうことを教えるには社会倫理という科目が設けられている。

実行させることは学校生活全般にわたつて、生徒がどの行動のいちいちに対して良心的に判断させるのは原則である。その上に新光学園の教育根本であるカトリック教理を勉強し、正しい生徒に、公教要理を教える。新光学園の宗教的教養は、人間の神に

学校の教育の全般は確かな宗教的の信念に基きいている。即ち、人間は神に作られて神のおきてにしたがつて生活するのによつて、その終極の目的に即ち神と一致されることに達する。子供は神から賜にたくされたものである。子供が自分の力だけで目的も又目的への道がはつきり解るとは出来ぬ。神又は親の代理である学校の先生が子供にたしかな知識を教え、その教

出版するものの代表たるべき新光を、真のスクール、スピリットを築いてゆく立派な雑誌としてゆくよう、この校長先生のおことばに励まされ、一応来年の三月を目標として第五号編集に積極的に関き始める。運動会の記録写真を整理して壁報を編集することや、図書部と提携して種々の活動を行うこと等多様な計画をたててお

り、今後の発展が期待される。

新らしく新光編集部員に決定した一、二年生は左の諸君である。

二年Aー
二年Dー
一年Aー
一年Bー

これで部員は、高一年四名、中二年七名、中三年一名(「」)の従来の部員と合

計十九名。

ウエバー先生の御母様は、去る九月二十九日ブラジルで亡られた。この通知は当日より二週

間遅れて十月の十一日に届いたのである。従つて本校では十月十二日(土)ウエバー先生の御聖堂から出ていらした時も、なん

となく淋しそうなの、しかもどこか安心したようなお顔をなさつていらした。なお、お母様のお年は六十六才であつて御病氣で亡な

ロザリオの月

カトリック教会では、特に、ロザリオの月として定まっている。今年には教皇の特別な御意向によつて、全世界のカトリック信者は、この世界の平和と幸福の爲に、毎日ロザリオの祈りを一層ずつ捧げる事になつてい

る。本校でも、信者の者は昼休

總時間ヘルヴェク神父様と共に、この祈りを捧げる事になつて

いる。ロザリオの祈りは、聖母ドミニコにお授けになつた祈りで、その時多くの恵みを授け

ることまでも御約束になつたという力ある祈りである。事実この祈りによつては、多くの奇蹟が行われていて、その代表的なものには、ルルドの奇蹟が挙げられるであろう。

豆ニュース

▲十月一日シュトルテ、ヘルヴェク両神父様による信者父兄、先生の修養会が行われた。

▲十月三日田浦劇場で永井博士の信者生活の画かれた長崎の鐘が上映された。

▲十月九日セントラル劇場で銀の作り始めから広島の現象映画「始めが終りか」を同学、校内二ヶ所まで生徒の意見を入

れる投票箱が設けられ好評を博している。

▲九月三十日先生対二年生の野球試合が行われ、十一A対九で二年生の勝利に終つた。

▲部告々現任、部員以外の就業者に限り、その名前を記載。